#### 漁港は

魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

## 漁港漁場用報

平成23年4月15 日 発行 毎月 1回15日発行 編集兼 発行人 社団法人 全国漁港漁場協会

東京都港区赤坂1-9-13三会堂ビル8階 電話 東京(5114)9981 定価 1部 70円

(会員の購読料は会費の中に含む)

## 東日本大震災治法・治村に壊滅的打撃

#### ◎漁船の被害状況

現在判明しているものであり、今後大幅に増加する見込み。

		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	漁船保険加入	被災漁船数(隻)	被害報告額
	隻数(隻)	(県からの報告)	
北海道(根釧、	16, 293	703	1,591百万円
日振勝、道南)			
青森県	6, 990	546	519百万円
岩手県	10, 522	壊滅的被害	7,000百万円
		(4市町村からの報告では現在の	
		ところ 4,014)	
宮城県	9, 717	壊滅的被害	105, 248百万円
		(宮城県の報告では、登録漁船数	
		13,570のうち12,011が被災)	
福島県	1, 068	896	調査中
茨城県	1, 215	249	調査中
千葉県	5, 640	335	488百万円
東京都	897	3	調査中
富山県	1, 038	8(被災地で係留中に被害)	調査中
石川県	3, 500	1 (被災地で係留中に被害)	調査中
静岡県	5, 473	10	調査中
愛知県	4, 991	8	調査中
三重県	7, 536	26	20百万円
和歌山県	3, 855	6	2百万円
鳥取県	1, 219	2 (被災地で係留中に被害)	調査中
徳島県	3, 551	4	1.85百万円
高知県	4, 088	25	14百万円
大分県	5, 258	2	65百万円
宮崎県	2, 442	20	29百万円
鹿児島県	7, 404	3	調査中

注:漁船保険加入隻数(登録漁船数の内数であり、実働動力漁船を最もよく反映した数字)

#### ◎漁港施設の被害状況

現時点において、各道県から報告のあった被害は以下のとおり。被災漁港数及び被害報告額は、今後大幅に増加する見込み。

	全漁港数	被災漁港数	被害報告額
北海道	282	15漁港	1, 163百万円
青森県	92	17漁港	2,839百万円
岩手県	111	ほぼ全漁港で壊滅的な被害	63,382百万円
		(これまで105漁港の被害を確認)	
宮城県	142	全142漁港で壊滅的な被害	187, 500百万円
福島県	10	全10漁港で壊滅的な被害	80,973百万円
茨城県	24	15漁港	40,889百万円
千葉県	69	11漁港	1,339百万円

注:被害報告額は、被災漁港のうち現時点で報告のあったもののみであり、今後も大幅に増加する見込み。

## 3月11日に東日本一帯を襲った東北地方太平洋沖地震は、巨大な津波が沿岸を飲み込み、北海道から千葉県にかけて大きな被害が発生した。特に震源地に近い岩手、宮城、福島の3県は、ほぼ全域にわたって壊滅的な状況となった。

4月11日現在の主な被害状況は次の通り。

#### ◎養殖施設の被災状況

県 名	被害を受けた養殖種類	施設被害報告額	養殖物被害額
北海道	・ホタテ、カキ、ウニ、コンブ、ワカメ等	16,562百万円	調査中
青森県	・コンプ、木タテ	21百万円	5百万円
岩手県	・ホタテ、カキ、コンブ、ワカメ等。施設被害額		調査中
	は大船渡市で54億円(他地区は調査		
	中)。	5,424百万円	
宮城県	・キ゛ンサ゛ケ、ホタテ、カキ、ホヤ、コンフ゛、ワカメ、ノ		
	リ類等	18,680百万円	33,100百万円
福島県	・川類	調査中	調査中
茨城県	・調査中	調査中	調査中
千葉県	・川類	調査中	調査中
神奈川県	・ワカメ等	調査中	調査中
三重県	・マダイ、クロマグロ、カキ、ノリ類、真珠等	施設・養殖物被害	額の合計
			3,720百万円
和歌山県	・マダイ、クロマグロ等	82百万円	833百万円
徳島県	・カンパ゜チ、ハマチ、シマアシ゛、ワカメ等	17百万円	502百万円
高知県	・カンパチ、マダイ、ノリ類等	215百万円	2,114百万円
大分県	・マダ゛イ、ハマチ、シマアシ゛、ヒラメ	38百万円	175百万円
宮崎県	・ハマチ、アシ゛、オオニヘ゛等	0.28百万円	6百万円
沖縄県	・ モス <sup>*</sup> ク	4百万円	30百万円

注:他の記載のない県は現在情報収集中。

#### ◎市場・荷さばき所被害状況(7道県の太平洋側)

現時点において、各道県等から報告のあった被害は以下のとおり。

	全市場数	被災状況
		(県等からの報告)
北海道	5 2	被災15ヶ所程度
(根釧、日振勝、道南)		(浸水、設備破損等)
青森県	7	被災2~3ヶ所
		(浸水、設備破損等)
岩手県	13	すべて被災
		大半は壊滅的被害。宮古・久慈・大船渡は建屋等
		が残存。
宮城県	10	すべて被災
		壊滅的被害(全壊、浸水、設備破損等) <b>。</b>
福島県	12	すべて被災
		  半壊4、建屋・機器の流出5、原発避難地区2
茨城県	9	大半が被災
		  全壊2、水没1、浸水3など
	2	一部で被害

#### 

	加工場数	主な被災状況
	(漁業センサス)	
北海道	570	一部地域で被害(半壊4、浸水27)
青森県	119	八戸地区で被害(全壊2、半壊10、浸水32)
岩手県	178	大半が施設流出・損壊(全壊55、半壊6)
宮城県	439	半数以上が壊滅的被害
		(全壊290、半壊17、浸水29
福島県	135	詳細不明
茨城県	247	一部地域で被害(全壊16、半壊47、浸水4)
千葉県	420	一部地域で被害(全壊5、半壊13、浸水12)

<sup>※</sup> 被害数は水産加工団体からの聞き取り。

#### 義援金のお願い

本会は、この大震災に対する復旧・復興支援のため、 義援金のお願いをしております。

皆様のご支援をよろしくお願いします。

(義援金受付口座)

・口座名義 「漁港漁場漁村義援金募金口」

(ギョコウギョジョウギョソン ギエンキンボキングチ)

・金融機関名 三菱東京UFJ銀行 丸の内支店

・口座番号 (普) 0082515

### 東日本大震災対策本部を設置 大日本水産会 方太平洋沖地震による、 月11日に発生した東北地 社大日本水産会は、3

鹿野大臣(右から2人目)に復興支援を求める 対策本部の代表

ている。

社全国漁港漁場協会の

われ、

全国漁港漁場協会第3回理事会

本部の一員として活動し

災に係る水産業再生復興 支援、漁業生産・生活イ を柱とする「東日本大震 ンフラ等の整備の支援等 **屁野道彦農林水産大臣に** 対策本部は、3月30日 本会以外の本部 被災漁船の再建

等を行う「東日本大震災 援対策の検討、 対策本部」(本部長 "白 復興等に取り組む必要が 携して水産業界、漁村の 須敏朗会長)を設置した。 あることから、この対策 しても、 社全国漁港漁場協会と オー ル水産で連 要請活動 会 犠牲者の冥福祈り黙祷

催日程、平成23年度暫定れ、第68回通常総会の開 予算等の議案の審議が行 橋本牧漁港漁場整備部長 を来賓に迎えて開催さ ら東京・千代田区の商工 会館において、水産庁の 平成22年度第3回理事会 3月24日午前11時か

行った。

日も早い復興を願う。

最初に田中潤兒会長

のご冥福を祈り、黙祷を より犠牲になられた方々

冒頭、今回の大震災に

Ų

広範囲で大津波が起

い限り、安全安心な水産

方太平洋沖地震が発生 が、「今月11日に東北地

の構成員は次の通り。 漁業協同組合、全国近海 全国漁業協同組合連合 日本かつお・まぐろ

携 本トロール底魚協会、 国底曳網漁業連合会、

全国まき網漁業協会、 かつお・まぐろ漁業協会、

同組合連合会、

については、

(案)及び収支決算(見 る平成22年度事業報告

平成23年度事業計

水産庁の応急対

及び会費 (案) について

画 (案)、収支予算 (案)

水産業の被害が甚大なこ

協力、水産分野の復興支

地に対する緊急支援への とから、3月13日に被災

協会、全国水産加工業協 会、全国中央市場水産卸 協会、全国さんま漁業協 国遠洋沖合いかつり漁業

全 日 中央会、日本定置漁業協 会、海外まき網漁業協会、 会、海洋水産システム協

協会 (順不同)。 合連合会、全国海水養魚 国蒲鉾水産加工業協同組 漁業信用基金中央会、全

る。また、会費について 会の開催も困難と思われ せざるを得ないと考えて 業計画案、収支予算案は た第63回全国漁港漁場大 おり、10月に予定してい この大震災により、 本日お示ししている事 変更 ように頑

原案通り承認され | こり、特に太平洋側の3 被害漁港の漁業生産量の のご冥福を祈るとともに 県を始めとして多くの漁 国内に占める割合は大き 港が壊滅的な被害を受け 犠牲になられた方々 被災漁港の復興が無 した。 報収集に努める」と挨拶ない状況であり、今後情 具体的な作業に入れてい 準の不明確さ等もあり、 人移行認定申請は認定基 置を考えている。公益法 は被災県に対する減免措

場整備部長より挨拶とと 続いて、 橋本牧漁港漁

くの方が被害にあわれ、 な説明があった。 き震災について次のよう もに用意した資料に基づ 冢族を失い財産を失った 「今回の大地震で、 国としても皆様と力

また、第2陣は、 漁業関連施設等 養

北

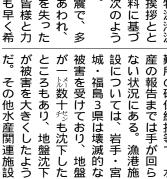
など惨憺たる状況が報告 殖いかだや定置網の流出 の消失、瓦礫の堆積、

漁業再建へ漁港の復旧急げ

水産庁が岩手・宮城で被害調

査

を合わせ、一刻も早く希





全国漁港漁場協会理事会の様子

に指名した後、

議案審議

夫理事 (社大分県漁港協 漁場協会会長)、藤本昭

会会長)を議事録署名人

されている。

るなど、漁業再建を目指 る漁港の復旧を望む声が っており、その拠点とな ら31日まで海星丸に乗船 術研究所が、3月26日か び (財)漁港漁場漁村技 水産庁、北海道開発局及 聞かれるようになってき した力強い取組みが始ま 調査した。 乗し、 センター の担当者が白萩 丸及び白鳳丸の2隻に分 岸して地域一体の状況を 宮城県気仙沼漁港等に接 まで、岩手県釜石漁港、 漁場漁村技術研究所及び 海道開発局、(財) 厅、水産工学研究所、 (社)水産土木建設技術 4月6日から15日 漁港

宮城県石巻漁港(荷さばき所の被災)

め、漁船やは、漁港、

ぼ壊滅状況 資機材がほ

であるなか で、既に沈

改善していることを受け のための物流が少しずつ

し向けて、

漁港、漁場、

水産庁は、被災者支援

庁漁業取締船の一部を岩

手県と宮城県の漁港に差

**迗等に当たっていた水産** て、これまで救援物資輸

に乗り出した。

現場で

たことが背景にある。

まず、

第1陣として、

漁村等の被害状況の調査

おける漁船残骸や瓦礫の 部消失や消波ブロック 漁港における防波堤の 洗掘と沈下、泊地に 岸壁や護岸の倒 れている市町村漁港の応 の中で、特に手当てが遅 る 陣の調査が予定されてい に入れた調査も検討して 水産庁は、この調査

の引き上げ

没した漁船

った。

び周辺の地域の調査を行

して、宮城県石巻漁港及

や打ち上げ

の散乱、

宮城県石巻漁港( 給油タンクの被災 )

用可能な資

を回収す

施設から使 られた養殖

> 漁船保険 活動等に全力で取組むの 復興へ向けた支援、要請 況だ。全国協会としても物の供給は困難という状 だきたい。 様にも理解と協力をいた で、各都道府県協会の皆

状況。生存:おいては港! 害は、特に 味を成さな 模だった。 11ح0، 9 う訓練等が意 グニチュード い桁違いの規

難所の確保 産の報告までは手が回ら 体維持等で、水仔者の確認、避 :ており、地盤 ある。 県は壊滅的な は、岩手・宮 岩手・宮城に いう壊滅的な まず漁船の被 には船が残っ 漁港施 場協会の現地の方々の情早急にやりたい。漁港漁 については養殖施設の復ねばならない。漁協関係 旧など、地区地区でどう するのかを総力を上げて

**いただきたい」** 場協会も色々な形で協力 くことになるが、漁港漁 使って協力を願いたい。 密な連絡が必要だ。各組 各県から集まっていただ 技術者の派遣についても 織がそのネットワークを 報収集に期待する。 特に市町村長さんとの

長として議事に入り、仙 頭義寬理事 ( 高知県漁港 引続き、田中会長を議

兒

場整備部長

橋本牧

【理事】会長 " 田中潤

日 ことを決定した。また、 常総会開催日程を5月25 を行った。 について」を審議し、通 「第68回通常総会開催等 はじめに、第1号議案 (水)16時からとする 会会長 (香南市長)、 漁港協会会長(姫· 協会副会長 ( 県信漁連会 部周一社福岡県漁港漁 藤本昭夫社大分県

冏 場

会の付議議案に関係す

鹿田正



挨拶する水産庁の橋本部長(右) 生簀・筏に大きな 被害があった。 応としては、県市

ては 対応している。 報の収集、一部の 監督船が生存者の た物資の輸送等に 搜索に当たり、ま 町村からの現地情 瓦礫の撤去につ 災の影響により、一年間回全国漁港漁場大会は震 審議が行われた。なお の延期と決定した。また 月に計画されていた第63

要望を入れながら、船が さは山手線内の6~7倍 復旧の仕組みの見直しも けて生活するのか、災害 と見られ、どの様に片付 入れるような復旧を急が した船を片付け、周辺の 必要と考えている。被災 被災エリアの広 度暫定予算について」は、第2号議案「平成23年 岩手県、宮城県、福島県 震災で被災の著しかっ の措置を講ずることとし 等の会費については減免

張っていきた

報告した。また、今回のついて村田駿表彰委員が での「平成23年度漁港漁 通り承認された。 案について審議し、 での間における暫定予算 4月1日から5月末日ま そのほか、理事会の前 原案

集活動について事務局 場功績者」の選考結果に のとおり (敬称略)。 ら説明があった。 大震災に対する義援金募 に開催された表彰委員会 理事会の出席者は、 【来賓】水産庁漁港漁 次

長(南あわじ市長)、仙田勝久兵庫県漁港協会会 葉県漁港漁場協会会長 頭義寛高知県漁港漁場協 ( 勝浦漁協組合長 )、中 県漁港漁場協会会長 (東 町長)、 港漁場協会副会長 (福島 通村長)、浅野恒郎壯千 理事 " 村田駿北海道 越善靖夫壮青森

理事が「現在、青森県か

に代わり、鹿田正一専務

冒頭、欠席の佐藤会長

鞭撻をお願いします。

なお、今日は、平成22

ので、皆様方のご指導ご よう努めていく所存です 全国漁港海岸防災協会22年度理事会

# 功績者や優秀機関など選考

## 全国漁港漁場協会表彰委員会



護運動等功績の4団体を った2機関、漁港漁場愛 優秀漁港漁場の整備を行 村職員21名を選考、 13名、同職員3名、 として漁港漁場協会役員 考を行った。 成23年度表彰候補者の選 協会から推薦のあった平 霞が関の商工会館で開催 前10時30分から千代田区 表彰委員会が3月24日午 その結果、功績者候補 都道府県漁港漁場 市町 また

漁港漁場協会表彰委員会の様子

表彰候補として選考

社全国漁港漁場協会の 会の第3回理事会で、村 田駿表彰委員会委員より は、同日開催された同協 表彰委員会の選考結果

与 委員 "村田駿理事、

次のとおり (敬称略)。

謝状等が授与される。

表彰委員会の出席者は

68回通常総会において感 に決定通知がなされ、第

会会長から表彰対象者等

後日、全国漁港漁場協

報告された。

理事、藤本昭夫理事

事務局 " 田村信雄参

おいて自然災害による被

図る上で重要ですが、 者の安全・安心の確保を 行うことが、 策や事故再発防止対策を として、再度災害防止対 生した場合、施設管理者 害や重大な交通事故が発

**浅野恒郎理事、仙頭義寛** 

なっています。 予算が配分されます。 とから、事業主体は、

り、年度途中であっても いう予算制度がありま 制度として、 策等緊急事業推進費」と 国土計画局には「災害対 迅速な対応を可能とする うした事業の実施にあた 国土交通省 現 在<sup>、</sup>

び予算配分の流れは別掲 本推 事

進費は、各省庁所管の事 の図のとおりです。 業を所管する省庁を通じ 業を通じて執行されるこ

って頂き、国土計画局か 施設整備事業等が対象と 基盤整備事業や海岸保全 産庁所管事業では、水産 ら事業所管省庁を通じて て国土計画局に要求を行

この制度のポイント及

だき、住民や施設利用者 回配分の募集中です。自 の安全・安心の確保策の 活用も併せてご検討いた 討される際に、本制度の 然災害や交通事故が発生 し、その対応について検 平成23年度第1

局調整課 (☎03 - 525 問・ご相談がありました 3-8367) まで遠慮 ら、国土交通省国土計画 一助となれば幸いです。 この制度に関するご質

dokeikaku\_tk4\_000002. ( http://www.mlit.go.jp / kokudokeikaku / kokuιį なくお問い合わせくださ また、 ムペー

**|**施係長 ( 北海

異動】

安田大樹

調

【漁港漁場整備部内の

部水産局漁港

号)で紹介します。て、雑誌「漁港」(4月

html ) にも、この制度 いますのでご覧くださに関する情報を掲載して 道水産林務 画課・漁政部漁政課併任 漁村課漁港漁村計画グル 場資源課) ( 漁政部漁 ー プ主任) **查班調查** 審査係長 画課

後藤朝子 計

担当 (漁港漁場専門官)

課長補佐・施工積算班

港漁場専門官) 犬塚良一 補佐·調査解析班担当( 漁

漁政部漁業保険管理官

整備課から

宗勇一

企画班企画係長

班評価第2係長 (総括班

漁政部漁政課政策評価

調整係長) 大隈寛子

漁

(政課) 坂侑子

支援係長) 木村智也

(計画課企画班保全活動

正岡克洋 増殖推進部漁

内容や活用事例についなお、本制度の詳しい ιį

整備課へ

担当 ( 計画課付・財団法

港湾事業企画課施設維持

州地方整備局港湾空港部

長野正嗣 国土交通省九

政係長(調整班実施係長) 政部企画課漁業労働班労

課長補佐・環境整備班

防災漁村課

人漁港漁場漁村技術研究

### 水産庁人 港事務所技師へ ( 防災漁 事異動

水 拓也

課計画班企画係長)高師漁港漁村課技師へ(計画 退職岩手県農林水産部 (三月三十一日) 退職千葉県銚子漁

査へ(計画課調査班調査 県農水商工部農水商工総 村課) 辻廣志 職長崎県五島振興局農林 務室企画調整グルー プ主 実施係長) 藤島弘幸

| 画課) 山﨑将志 | 水産部水産課係長へ(

計

防災漁村課へ

松田定勝

俊一

浅見能章

日本東京族

【漁港漁場整備部への (四月)日

(漁政部水

②交付申請 1 輔助

图空付法室 (補助

聖治 理班担当 ( 増殖推進部研 務局農林水産部林務水産 担当 ( 内閣府沖縄総合事 究指導課長補佐・普及育 **課漁業監督指導官)小林** 計画課長補佐・企画班 計画課へ 計画課長補佐・管 清水昭彦 C班資源計画係長) 原村 官(境港漁業調整事務所 農政局総務部厚生課長) 資源管理計 村企画班扣 (資源管理部管理課TA 総括班 当 (中国四国

長(国土交通省東北 整班内水面調整係長) 杁 管理部沿岸沖合課沿岸調 務所資源課長) 澤田龍治 画官 ( 北海道漁業調整事 漁船管理官)矢島由美子 整事務所漁業監督課外国 成班担当) 宮内信幸 総括班調整係長(資源 計画官 ( 北海道漁業調 計画班企画係 漁村課 総務課) 守田裕美 防災 課(九州海 長) 武下々 漁政課人事班人事第3係 長・農村振興局整備部農 部漁港漁村 村整備官付 環境 (岩手県農林水産 (恵) 防災漁村 課技師) **業調整事務所** |併任 ( 漁政部 整備班計画係 久田

村課中村 画課今 紀一亨 採用 防災漁

> 查研究部長 ( 国土交通省 場漁村技術研究所第一調 富寿夫 財団法人漁港漁 長補佐・企画班担当) 楠 補佐·水産防疫班担当( 課 全局畜水産安全管理課長 長) 小本淳史 消費・安

班企画法令係長)黒田博

所資源管理計画官 ( 総括

都市・地域整備局離島振

務所調整課(防災漁村課

瀬戸内海漁業調整事

整備局塩釜港湾・空港整

備事務所品質管理課技術

町貴美子

退職三 重 退 国際協力課 橋本守布 課中央市場業務班業務第 班地域整備係長(国土交 3係長)本多靖孝 整備 官房情報評 術監理室性 通省港湾局技術企画課技 整係長(総合食料局流通 官)藤田智 専門官 (大 漁港漁場専門官(大臣 5輝 総括班調 (臣官房国際部 :価課監査官) 能規定係長) 海外技術協力 海外水産土木

海岸班海岸計画係長 (災

班企画係長) 浜崎宏正 整備課併任(整備課企画 本竜太郎 災害査定官・ 所第二調査研究部長) 山

崎港湾・空港整備事務所

交通省九州地方整備局宮

備係長) 田添賢治 管理係長 ( 整備班地域整

沿岸防災対策官(課長補

佐・施工積算班担当)谷

害対策班指導係長)深田

口君洋

宏

漁村企画班企画係長

防災漁村課から

漁政部水産経営課併任 課長補佐・総括班担当 の転出】 【漁港漁場整備部外へ

冨喜一郎 課長補佐・漁佐・金融第2班担当)光 :画官) 三上清 企画法令係長 施設管理指導 產経営課長補 専門官 (計画官) 松岡幸 政部加工流通課水産加工 括班税制係長(総括班調 子 理班担当) 香取義和 備課併任 ( 課長補佐・管 課長補佐・企画調整・整 船員班担当(計画官)川 上直樹 漁政部漁政課長補佐・ 漁政部水産経営課総 計画課から 漁政部水産経営 漁

歳入係長 ( 管理班指定係 漁業保険管理官付経理班 整係長) 高安治 漁政部 長( 漁村企画班企画係長 ) 計班漁場基準係長)大黒 ·計画課併任 ( 整備課設 災害対策班指導係 藤良助 官) 池田透

稔 智 山口正裕 国土交通省北 川情報企画室情報分析係 通省河川局河川計画課河 国土交通省都市・地域整 整備班計画係長) 泰磨孝 長補佐・総括班担当) 佐 当・防災漁村課併任 (課 漁村企画班担当) 下迫田 主計班担当 (課長補佐・ 門官 ( 災害査定官 ) 牧野 海道局農林水産課開発専 長(海岸班海岸計画係長) 担当) 中村克彦 国土交 (課長補佐・環境整備班 備局離島振興課長補佐 災漁村課) 小林真一郎 第1班輸入業務係長 (防 事班人事第1係長 ( 環境 佐・調整(施設管理指導 経営課長補佐・総括班担 漁政部加工流通課貿易 漁政部漁政課長補佐・ 境港漁業調整事務 漁政部漁政課長補 漁政部漁政課人 漁政部水産

## 体となり漁港復興を

#### 対策事業推進費を 活用 第 回配分を

告及び収支計算(見込み) 局調整課より> 『災害対策等緊急事業 ^ 国土交通省国土計

田

区霞ヶ関の商工会館

いっぱい役割を果たせる 協会と一体となって、力

平成22年度理事会を

月24日午後1時から千代

(佐藤孝行会長)は、

3

ら、また、

全国漁港漁場

全国漁港海岸防災協会

団体と連絡を取りなが

開催した。

対しては、減免措置を講 度事業計画案及び収支予 おいて任期満了に伴う理 算案、会費案 (岩手県、 事及び監事の改選行うこ 第四号議案の次期総会に 原案通り承認したほか、 じる) 等について審議し 宮城県、福島県協会等に 及び第三号議案平成23年 月10日) 推進費』を活用した再度 災害防止・事故再発防止 対策第1回配分募集中 (平成23年4月4日~

出席者は、次の通り(敬

記念ホールとすること等 第二号 理 事 = 鹿田正一専務理 中

事業計画案などをご審議 赤坂の三会堂ビル・石垣 の第19回通常総会の開催 いただきますようお願い 年度の事業報告、23年度 します」と挨拶した。 (水)午後3時から港区 議事に入り第一号議案 場所を5月25 日 称略)。 とを決定した。 【理事】

議案の平成22年度会務報 都漁港漁場協会専務 【顧問】田中潤兒社全国 ·村清志東京 理

(3)

この協会としましても、

の総会開催要項、

思っています。その際は 的に始まっていくものと 復興に向けた動きが本格 あるわけですが、今後、 いるだけ、という状況に を見ながらやきもきして 乱の中で、私どもは報道 大津波の被災現場は大混 ら千葉県までの大地震・

日 程 •

漁港漁場協会会長 見舞いを申し上げます。 くの方々が被災されまし 甚大な被害が発生し、多 沖地震により、 た。 さて、 今般の東北地方太平洋 被災された方々に対 心からお悔やみとお 漁港や海岸等に

【災害対策等緊急事業推進費のポイント】

然災害や重大な交通事故が対象

約 270 億円

不幸にも

【予算額と予算配分の流れ(水産庁所管事業の場合)】 国土交通省 **ララ真似が** ②事業計画の技術。実施計画協議 財務者

本所課長級以上

園芸試験場長) 北川守

及び三月三十一日) 人事異動 (四月一日付

水産部長) 宝多森夫 部次長) 渋谷義仁 下北地域県民局地域農 水産部水産局水産局長

漁村課技術主幹兼整備担 村益男 広域振興局水産部長) 港漁村課総括課長 ( 県北 寺島久明 監兼水産振興課総括課長 ( 農林水産部技術参事 ) 農林水産部水産担当技 振興局長) 東大野潤 農林水産部漁港興局水産部長)大 農林水産部漁

長(農林水産部競馬改革 澤公延 推進室長) 松岡博 県北 漁村課整備担当課長)大 当課長 (農林水産部漁港 取締事務所長) 坂本晋 古水産振興センター 所長 沿岸広域振興局水産部宮 調整課長)五日市周三 林水産部水産振興課漁業 広域振興局水産部長 ( 農 ( 農林水産部岩手県漁業 県北広域振興局

港漁場整備事務所長 ( 農 水産部参事)鈴木誠 北地域振興局長 (農林水水産部参事)鈴木誠 仙農林水産部次長 (農林 【秋田県】

合支庁長) 支庁長) 菅野滋 農林農林水産部長 (村山総 【山形県】

(農林水産部長)

【千葉県】

興事務所長)

二浦

恒夫

谷信夫

公営企業管理者

員会事務局長)

鍋島浩

管理者又は指定管理者か

漁港

場を提供することを目指 国民に海とのふれあいの

している漁港であっ

ζ

れていた高知県

なった。 た。

農林水産部次長(農林水 北地域県民局地域農林水 理グルー プマネー ジャ 漁場整備課総括主幹・ - ) 工藤康成 退職 ( 西 備課長)新山英邦 ( 農林水産部水産局漁港

備事務所長)長内隆次 産部西北地方漁港漁場整 【岩手県】

農林水産部長 ( 県北広

【富山県】

産漁港課主幹・課長補佐振興課長)朝倉隆文 水農林水産部次長 (文化 設技術センター出向(水内山勇)管理課主幹・建 吉博 主幹栽培深層水課長(水技術センター水産研究所 盛野聖治 農林水産総合 漁港課副主幹漁政係長) 産漁港課主幹·課長補佐) 課長補佐振興係長 (水産 ター 施設管理課長) 米田 漁港係長 ( 富山土木セン 水産漁港課主幹・

産漁港課主幹・課長補佐 定村剣次 振興係長) 若林洋 退職( 農林水産部次長 )

細川明彦 川土木総合事務所次長) 漁港漁村整備室長 ( 石

【石川県】

農林水産部下北地方漁

プマネージャー ) 佐々木 下北地域県民局地

備事務所長 (農林水産部 水産局漁港漁場整備課総 産部西北地方漁港漁場整 務所長) 小田原伸廣 西≻北地方漁港漁場整備事 ;所長) 小田原伸廣 地域県民局地域農林水

括主幹・施設整備グルー

担当技監兼漁港漁村課総 括課長) 佐々木敦 退職(農林水産部水産

産部次長) 伊藤淳

長) 石戸谷満 農林水産民局地域農林水産部次場整備課長 (西北地域県 農林水産部次長 (下北地幸) 西北地域県民局地域 総括主幹・施設整備グル 部下北地方漁港漁場整備 地域県民局地域農林水産 総括主幹・管理グループ 部水産局水産振興課長 産政策課長) 樋口浩文 部水産局漁港漁場整備課 主幹)藤田徹 農林水産 委員会事務局職員課総括 サブマネー ジャー 部水産局漁港漁場整備課 長) 山内高博 農林水産 県民局地域農林水産部 |務所総括主幹)| 山本鉄 水産部八戸水産事務所三八地域県民局地域農 林水産部水産局漁港漁 プマネージャー (下北 (人事

漁

場

月

報

港

漁

柞木田善治 退職 (農林 有馬喜代史 退職 (農林 水産部水産局水産局長) 産部水産局漁港漁場整 退職 漁港整備主幹) 畠山勝夫 芳賀泰典 退職 ( 庄内総 斎藤亮一 整備主幹(都市計画課長 合支庁産業経済部水産課 産部技術戦略監兼次長) 補佐) 西塚祐司 庁産業経済部水産課漁港 (生産技術課生産振興主 退職 (農林水産部長) 【新潟県】 退職(農林水 庄内総合支

方

長)須田利弥

参事・課長補佐) 片野卓 (内水面水産試験場参事 ,水産課長補佐) 藤田利 増殖環境課長 ( 漁港課 養殖課長) 片岡哲夫 水産課参事・課長補佐 漁港課参事・課長補佐 水産海洋研究所参事 薄井厚 中岡靖 長(農林水産部次長・技)

重田雅行

部港湾課主幹) 足立真宏 伸治 【愛知県】

盤整備1課長) 平野繁 農村基盤室・副参事兼基 長 (桑名農政環境事務所 農水商工部水産基盤室

農水商工部農業基盤室長 長) 田中俊行 (農水商工部水産基盤室 【大阪府】

政次 退職 (水産課参事)本室課長補佐) 北出弘 水産課参事 ( 環境管理 森

路県民局洲本農林水産振 農政環境部農林水産局 【兵庫県】 ・災害復興室次長 (淡

水産部技術戦略監兼次長 農林水産部生産技術課長 (農業総合研究センター 国傷害者スポー ツ大会局 働部長) 永妻能成 部次長・事 ( 商工労働 次長) 木原稔 農林水産 販売担当部長 (国体・全 農林水産部長 (商工労 流通 部 生 部農林水産局長) 藤原道 淡路県民局長 ( 農政環境

生恵 農林水産部次長・ 房地区整備センター 所 参事兼経済政策課長) 麻 理事) 古澤昭彦 教育次 会事務局長 (農林水産部 産部水産局漁港課長 (安 所長) 森田春雄 農林水 (海匝農林振興センター 産販売振興課長) 宇野晴 技(農林水産部技監兼生 農林水産部次長・技 人事委員 港湾課長) 森本昌和 頭総合事務所計画調査課 県土整備部次長(東部総 弘嗣 空港港湾課長 (八 東部福祉事務所長) 下田 産事務所長) 松澤以尚 葉狩健一 務所県土整備局長 (空港 長) 森下博 日野総合事 合事務所福祉保健局長兼 退職 (水産振興局長)

【岡山県】

部水産局漁港課長)居城 産部次長・技) 平山利夫 退職 (農林水産部長) 農林水産部技監) 退職 (農林水産 退職 (農林水 班総括副参事) 田丸和彦 課長) 田中丈裕 ( 農林水産部水産課漁政 退職 (農林水産部水産 農林水産部水産課長

【広島県】

建設部港湾課長(建設 **備担当監)向島睦磨 県振興部水産課漁港漁場整** 当監 ( 農林水産局農水産 水産局総務管理部団体検林水産局水産課長 (農林 立総合技術研究所水産海 水産局水産課漁港整備担 整備部長) 中村道人 農 査課長) 山田正通 農林 興部長 ( 農林水産局農林 農林水産局林業水産振

洋技術センター長(農林 課長)加藤友久水産局農水産振興部水産

【山口県】

長(美祢社会復帰促進セ井克彦 農林水産政策課(長門農林事務所長)藤 部理事兼団体指導室長 ンター総務部調査官) 塩 産部理事兼団体指導室 農林水産部長(農林水 松永貞昭 農林水産

備部次長)野村勇二 退職 ( 県土整 次長)山野克英 班) 矢尾宏志

土木事務所四万十町事務

課長) 濱本俊策 佐) 北尾登史郎

【愛媛県】

局長 (総務部管理局人事農林水産部水産局水産 課長)石川孝夫 愛媛県 産局水産局長 ) 山内正吾 土木部付 ( 農林水産部水 【高知県】

> 日午後1時30分から東京 ナ認定委員会が、3月30

うものである。

ャリーナの認定審査を行 らの申請によるフィッシ

②プレジャ

ーボート等の

係留・保管

|施設を有する

又はその計画があること

っ た。

の場を有していること、

①一般市民

らとのふれあい

振興班) 井上仁 下関水 則 水産事務所次長兼総務課 長 (長門健康福祉センタ 産振興局次長)後藤敏郎 産振興局次長 (農林水産 建築部港湾課主幹・計画 水産事務所次長兼総務課 課調整監) 秋山隆文 振興課兼商工労働部商政 水産事務所長) 松島孝信柳井水産事務所長 ( 萩 業調整取締班長 (下関水 部水産振興課調整監・漁 部団体指導室主幹・指導 関水産振興局次長 (土木 興課長)渡邊憲一郎 (柳井水産事務所長)中 (農林水産部長) 水産技術担当 ( 水産振 総務課長) 大野一郎 農林水産政策課長)河 退職 (下関水産振興局 萩水産事務所長 ( 水産 周南農林事務所長 農林水産部審議監 水産振興課 退職(萩 農林水産 藤部秀 敬一 漁港漁場課長 (水産振興 防災課長) 山内健 補佐) 本田賢児

長) 小野村隆司

( 農政水産部水産課長補 退職(農政水産部水産 農政水産部水産課長 【香川県】

業振興部長 ( 水産振興部計画課長 ) 野々村毅 農 幡多土木事務所長 (都市 高知高等

認定漁港は全国 第4回フィッシャリー フィ

・ツシヤ

IJ

ナ認定委員会

で 32

に

次の4つの

要件を満たす

化生活部文化·国際課長) 業振興課長 ( 海区調整委 次長・総括) 東好男 福田道則 水産振興部長 ( 教育委員会事務局教育 東京事務所副所長(文 催された。 2回目の委員会で、 を行うことになってから シャリー ナに関する業務 国漁港漁場協会がフィッ 港区の三会堂ビルで開 今回の委員会は、

(社) **全** 

港及び漁港周辺海域での

て認定されるのは、「漁

フィッシャリーナとし

ح

③漁港内で一般市民が安

漁業と海洋性レクリェー

区域が明確であること 全かつ自由に往来できる

ャリーナに認定した。

④原則として便所及び駐

車場を有すること

今回の委

員会では、 申

認定された漁港数は32と

部水産課長) "五

十音

ション活動との共存及び

長) 木椋康博 須崎土木 四万十町事務所長 ( 須崎 部漁港漁場課長補佐)中 岡将博 須崎土木事務所 学事務局次長・総括)安 所次長 (会計管理局会計 野善清 中央西土木事務 木事務所長 ( 高知土木事 長) 栗本博樹 港湾・海 事務所次長 ( 高知女子大 管理課会計指導監) 北村 部統計課長補佐) 福井啓 東土木事務所次長 (総務 所長 ( 危機管理部地震・ 安芸土木事務所室戸事務 務所技術次長) 高田等 岸課長 (港湾・海岸課長 設検査長 ( 港湾・海岸課 (建設管理課長)味元毅 (水産振興部漁港漁場課 ( 安芸土木事務所長) 永 土木部土木技術監兼建 中央西土木事務所長 土木部副部長・総括 須崎土木事務所長 水産試験場長 安芸土 中央 所土木技査) 片岡理 退職 (中央西土木事務 水長) 野村明秀 次長) 吉本豊 退職 (須 崎土木事務所四万十町事 崎土木事務所長) 楠瀬洋 術次長)長瀧豊 退職(須 職(中央西土木事務所技 退職(須崎土木事務所

【福岡県】

倉隆啓

太田和夫

(幡多土木事務所長) 退職(農林水産部次長) 長 ) 道 職 尾昭人農 漁場整備課

職(土木部技術監)島田試験場長)桑原秀俊 退職(水産振興部水産 副所長) 上杉隆久 土木技術学校長 (東京事務所 技術次長) 戸梶早夫 部公園下水道課長(安芸 技術次長)岩﨑正敏 高務所長(安芸土木事務所 長)川内敏博 中央東土 土木事務所室戸事務所 技術学校長 総括 ( 中央東土木事務所 知土木事務所次長・技術 木事務所永瀬ダム管理事

土木技査) 市川幸男 退職(中央東土木事務所 事務所次長) 古味幸一 松田優 退職 (中央西土 職( 中央西土木事務所長 ) 博仁 退職 (中央東土木

務所長) 浜口洋介 場課長 ( ) 局次長兼建 佐) 壱岐雅 漁場課長) 前川浩二

林水産部水 市計画課土木審議員)平 農林水産部水産局漁港 林水産部水産 景 ( 土木部都 産振興課長補 (課審議員 ( 農

彦

振興部長( 本部長)飛 づくり本部 副本部長 ( くり本部 井山聡 県 術監 (中部 土づくり本 り本部長 (県

長) 牟田香 退職 (生産 林水産商工本部長兼生産 振興部長) 退職(県土づくり本部 鵜池常範

次長) 荒川敏久 漁港漁市場・流通担当 (水産部 【長崎県】 水産部政策監・養殖・ 設部長 (漁港 港漁場課長補 夫 長崎振興

【熊本県】 漁港整備対策監)永野広 所長 ( 漁港漁場整備課・ 山田卓郎 北部港湾事務 場長(漁港漁場整備課長) 長) 髙島俊一 水産試験 立図書館長(農政水産部 水産担当) 関屋朝裕 退職(農政水産部次長

漁

港

往

来

自3月1日

至3月3日

村課技術監) 平川貴 農 所長)服部二朗 県土づ 務所長)副島孝文 県土 ( 県土づくり本部農山漁 農地整備課長 |農林事務所副 農山漁村課技 伊万里農林事 部副本部長) 土づくり本部

青森県農林水産部水産局漁港漁場整備課

3月28日 (月)

農林水産商工 漁場整備課長) 尾山佳人 員)緒方清吾 漁場整備課農林水産審議 佐)蒲原一美 退職(農林水産部漁港 退職(農林水産部漁港 長新山英邦氏

【宮崎県】

産部水産振興課長 ( 水産 長)陶山修 商工労働水 地域振興局総務企画部

労働水産部次長 ( 鹿児島 興課長) 坂口弘行 水産 (商工労働部水産振

商工労働水産部次長・

村振興課・漁港整備対策 査専門員) 与儀新二 県 監(工事検査課・工事検 副場長)神田美喜夫漁 村振興課長 ( 水産試験場 産試験場長) 那須司 漁 産部次長・水産担当 (水 務所長) 岡村巌 農政水 農政水産部長 (東京事 次長)三角隆雄 労働水産部次長) 秋元幸 線活用政策総括監 (商工 中長期政策等担当兼新幹 振興課水産流通対策監) 柳原重臣 企画部次長・ 退職 (商工労働水産部

【沖縄県】

所長 (水産課長)島田和 興センター所長) 玉城貢 統括監 (北部農林水産振 水産海洋研究センター 農林水産部農漁村基盤

吉川漁港、富山県水橋漁 港、和歌山県内の浦漁港、 委員は次の通り。

港について認定審査を行大分県大海田漁港の4漁 とも認定要件を満たして た申請書類をもとに行わ 審査は事前に提出され 申請のあった4漁港 長 長) 大森敏弘 (全漁連庁漁港漁場整備部計画課 長 技術研究会会長 " 委員 農林水産部水産局漁港課 坂井淳 ( 漁港漁場新 宇賀神義宣 (水産 居城伸治 (千葉県

国でフィッシャリーナに いることから、フィッシ 今回の認定により、全 国漁港漁場協会理事) 漁政部長) 鹿田正一(全 社企画室専任部長) 山健 ( 神奈川県環境農政 玉置純 (ヤンマー東京支 米